

特色ある取組紹介

【施設名】

秋田県立図書館

【施設概要】

秋田県立図書館は全国の府県立図書館として最初に開館した京都府立図書館に続き、2番目に古く、1899年（明治32）に開館しました。その後、2回の移転を経て平成5年には現在の場所になりました。県立図書館としては、全国的にも早く設置されています。また、平成18年4月には、当館の分館としてあきた文学資料館が開館しました。



県民の生涯学習の中核施設として、市町村図書館では容易に整備できない専門書や図書を収集・保存し、利用に供しています。また、郷土資料の収集を行い、秋田に関する資料センターとしての機能を果たしています。現在、図書・視聴覚資料など約690,000点を所蔵しており、平成18年度の個人貸出冊数は約328,436点、うち図書館間等の相互貸借冊数は約13,742点でした。

平成17年10月に新システムを導入し、県内の市町村図書館や大学図書館とのネットワークを形成し、県内全域へのサービス形態を充実しています。このシステムでは、特に、貸出、返却、検索、予約等の窓口業務がより効率的になり、蔵書データベースをもとに、資料検索、貸出、返却、発注、受入などの図書館業務をトータルに処理できます。

利用者へのシステムサービスでは、蔵書検索や音声応答、インターネットを利用した蔵書検索や図書の予約、県内図書館（21館）の資料横断検索などができます。

平成19年度から県民に本を読んで元気を出してもらうための新事業「元気アップL340事業」が始まりました。これにより、開館日が1年間で340日となり、原則、月1回の休館日となります。さらに、県内の高校や特別支援学校などに図書のセット貸出や大活字本の充実など高齢者支援にも積極的に取り組んでおります。

【特色ある取り組み】

○県外図書館との交流展について

平成18年度より広域連携事業の一環として県外図書館との交流展示会を開催しています。これは、両館の所蔵資料の交流により図書館間の相互関係を深め、他県の資料を広く県民に情報提供することをねらいとして実施しています。第1回目は奈良県立図書館との交流展で、秋田県立図書館が平成18年3月に行った企画展示「土屋秀禾が描いた絵巻ー佐竹本三十六歌仙ー」で紹介した当館所蔵の佐竹本三十六歌仙絵巻のデジタル化資料の印刷パネルや絵巻関連資料などが平成18年9月に奈良県立図書館で展示されました。また当館では、平成18年12月に「第1回図書館交流展 奈良を旅する」のテーマで奈良県の歴史・文化・観光等の資料を展示、紹介しています。

第2回目は宮城県図書館との交流展で、平成19年3月に「きらめく叡智と美のしづく展」のテーマで、1602年に北京で刊行された漢訳世界地図の「坤輿万国全図」他の貴重資

料のレプリカなどの宮城県図書館所蔵資料を展示しました。いずれの展示会においても観光ポスターやパンフレットも併せて紹介し、各県の観光PRも兼ねての展示となりました。

○課題解決型テーマ展示

当館では、平成13年度から毎月テーマを決め、閲覧室内で展示をしています。

昨年6月27日(火)～7月23日(日)かけては、「防犯、防災」ー新しい夏を安全に過ごすためにーをテーマにとりあげ地震や災害関連の資料とともに、こどもの安全にも関心や高まりを期待し、情報提供をしました。

また、昨年8月29日(火)～9月24日(日)まで「知ることから道は拓ける」～ストップ!がん～というテーマで、秋田県の施策のひとつ「健康あきた21計画」の中から今、県民にとって一番身近なテーマ「がん」にスポットをあてた課題解決型の企画展示を開催しました。同時に、「がん」関連の書籍やパネル、リーフレットなども展示しました。その後は、テーマを変えながら健康に関する小展示をしています。現在は「こころの健康」というテーマで資料の展示をしています。

これらのテーマ展示に関して、平成18年9月1日付けで地元の新聞(秋田魁新報)紙上に「県民の課題より身近に」という記事見出しで取り上げられ、県民から少なからず反響を得たのではないのでしょうか?

○レファレンスサービスの充実

図書館におけるレファレンスサービスは、重要なサービスであると位置づけられているにもかかわらず、知ってはいても利用したことがない、という利用者がほとんどではないかと思われます。そこで秋田県図書館協会が昨年、レファレンスサービスの認知と活用をはかることを目的にレファレンスのイメージマークを作成しました。



秋田県立図書館では、館内やレファレンスカウンター、ホームページ、メールマガジンなどにイメージマークをあげたり、レファレンス関係用紙に使用しています。また、新聞やテレビなどで広報しました。レファレンスカウンターの職員は手作りのバッジを付けてレファレンスサービスとレファレンスマークの認識の定着に努めています。

秋田県内の市町村図書館等では、19年1月10日から一斉に掲示をし、活用を始めました。

秋田県立図書館のレファレンス件数は昨年度より 昨年同期比11パーセント増の17906件でした。

○ITを利用した広報活動の充実

図書館広報では、毎月発行の県立図書館だよりやメールマガジン、ホームページなどで積極的な情報提供を行っています。特に県立図書館だよりやメールマガジンでは、県内の全ての小中学校や高等学校、特別支援学校などに一般登録者へ配信する内容の他に教育関連情報を付加して配信しています。教師や保護者向けの教育関連図書や児童・生徒の学習関連図書の紹介、教育関連イベントなどの情報を提供しています。